

「餓鬼どもが 餓鬼に施こす うら盆会（ぼんえ）」

これは暁鳥敏（あけがらす・はや）先生の句です。お盆に施餓鬼をして先祖供養をしたり、常にはあまり気にしないお墓に参る。一見美しい礼拝・供養の姿に奥にうごめく醜悪な人間の心情を、ギョロリと見つめられた。暁鳥先生の心眼に「餓鬼ども」の影が映ったのでしよう。

「常に飢えたるもの」が餓鬼だと親鸞聖人は言われます。満足感がなく、欲心に追い回され、名利（みより）に動く心情は餓鬼そのものです。先祖を諸仏（しよぶつ）としてお敬いすることは尊いことです。しかし、先祖を餓鬼として供養したり、たたりを恐れて、慰霊をしたり、あの世から都合よく守ってもらおうと思う根性こそが、自分の欲心、名利心を満たし守ってもらおうとする餓鬼の姿であり、これほど先祖を侮辱することはありません。お盆は、あらためて先祖・亡き人の声なき声に耳を傾け、我が身のありかたに目覚める聞法のご縁です。浄恩寺でも盂蘭盆会法要を勤めますのでお参り下さい。

「お盆（盂蘭盆会）のお勤め」

一．「初盆の法要」

昨年のお盆以降にお亡くなりなられた方々の法要

・ご希望される方のご自宅、お寺にて勤めます。

・期間

- ① 七月一日(日) ～ 十六日(月) 海の日
- ② 八月一日(水) ～ 十六日(火)

二．「初盆以外の法要」 合同法要

初盆の方もお越し頂いてけっこうです。

・八月十二日(日) 十三日(月) と十四日(火) の左記の時間に浄恩寺本堂で勤めます。

・時間

- ① 午前九時法要開始（受付 八時三十分開始）
- ② 午前十時三十分法要開始（受付 十時開始）
- ③ 午後一時三十分法要開始（受付 一時開始）

注意、十二日 十三日は、③ 午後の法要はありません。

最近、お葬式で供え花が残ると、いまだにシメントを自己流で作って楽しんでいます。枕花として注文するかなり高価なものです。花瓶に花を立てるより、立体的に作る心がオワシスな単なるが利点です。

イオン新瑞橋店真夏日、墓地で納骨を終え、寺で一周忌法要。曾祖母のお骨をひ孫さんの手で納める様子。はほのぼの。一転悠然と流れる大河長良川の景観。とても印象に残る一日を過ごさせて頂きました。



風呂にはいりました。鶴舞グラウンドがサッカー場に生まれました。まがれ変わるので周りをふくくや。そろそろおわりです。真夏は日中散歩は難しくなります。



